

経済	ソフトバンク LINEと提携検討	7面
スポーツ	侍J、全勝のメキシコ下す	19面
大相撲	●御嶽海 よりきり 大栄翔	17面
社会	飯田の中学部活 1月「オフ」に	30面
社説	大嘗宮の儀/里山の昆虫減少	5面

東 信	佐久のコースも被災
北 信	協力して長沼復興を
中 信	盲導犬と塩尻ツアー
諏 訪	諏訪市バス乗ってみて
飯田伊那	飯田東中資源回収25年
地域ニュース	22-25面

2019年(令和元年)

台風19号 関連記事

11月14日

応急仮設入居募集へ
越水の力 想定以上

2面
3面

復興支援 宿
長沼小卒業

木曜日

千曲川決壊 越水が要因

調査委 住宅側堤防削ったと結論

台風19号による長野市穂保1・5にわたって発生。水示さなかった。千曲川の堤防決壊について調査する国の有識者委員会は13日の第2回会合で、川の水位が堤防上を越える「越水」で住宅側の堤防斜面を削ったことが主要因と結論づけた。年内に3回目の会合を開き、決壊堤防の本格復旧方法を定める予定だ。【焦点3面に】

調査する国の有識者委員会は

13日の第2回会合で、川の水位が堤防上を越える「越水」で住宅側の堤防斜面を削ったことが主要因と結論づけた。

年内に3回目の会合を開き、決壊堤防の本格復旧方法を定める予定だ。

【焦点3面に】会合は長野市内で開き、大塚悟委員長(長岡技術科学大学教授)ら委員6人が出席した。

国土交通省北陸地方整備局によると、10月13日午前0時55分に越水が始まった。現場付近の越水は左岸堤防の長さ

1・5にわたって発生。水位は高さ約5メートルの堤防頂点を最大80センチ上回った。堤体の下部で幅約38センチ、上部で幅約14センチの堤防が長さ約70メートル間で決壊した。災害後の調査で住宅側の堤防脇では地面が最大深さ2・4メートル削られていることも確認した。

「午前3時から5時半の間」とされていた決壊時間についても、さらに絞り込んだ時間は決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

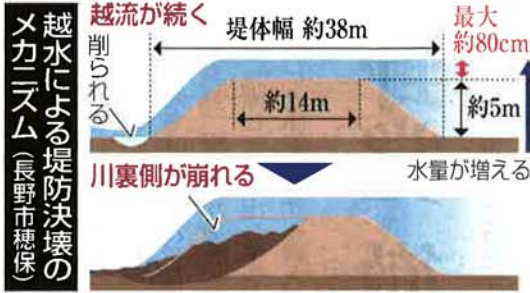
「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え



堤防決壊から1カ月たった千曲川左岸。同じ位置に造成された仮堤防(中央)横の住宅地側(左側)は現在、整地されている＝13日午後1時19分、長野市穂保

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え



黙とうをささげた後、「長沼頑張ろう」と声を合わせる長沼地区住民自治協議会の役員たち＝13日午後0時4分、長野市の赤沼区公会堂

「浸透」、堤防の下部が水流で削られて崩れる「侵食」もあるが、国土交通省側は「今回の決壊の主な要因として考え

がんばろう 長沼

千曲川決壊1ヵ月 長野で黙とう

台風19号による千曲川の堤防決壊から1ヵ月となった13日、2人が犠牲になった長野市長沼地区で、住民自治協議会(住自協)の役員や住民らが黙とうをささげた。市役所でも市災害対策本部会議の開催に合わせ、職員や来庁者が黙とう。犠牲者の冥福を祈るとともに、被災地の住民は復興への決意を胸に刻んだ。

【関連記事地域面北信に】長沼地区では10月13日未明に堤防が決壊。2階近くまで水に漬かった住宅もあった。一帯では同14日に自宅で西沢孝さん(81)＝赤沼Ⅱが、15日に大田神社近くで徳永初美さん(69)＝同Ⅱがそれぞれ見つかり死亡が確認された。

決壊から1ヵ月となったこの日は、長沼地区住自協の役員や地元消防団役員、市長沼支所の職員ら11人が、赤沼区公会堂に集まった。正午に合わせ黙とうを呼び掛ける放送が防災行政無線で流れ、参加者は黙とう。一帯でも住民が静かに目を閉じた。

長沼地区にある4区の一つ、穂保区の土屋勝区長(64)は「被災から1ヵ月が過ぎ、復興が進んだ区もあれば、まだこれからの区もあるが、長沼は一つだ。長沼の復興のために心を一つにしよう」と呼び掛けた。「長沼頑張ろう」と掛け声が上がリ、役員らは3回拳を突き上げた。

越水の力 想定以上

焦点



決壊現場と同じ位置に造成された仮堤防(手前が住宅地側)。堤防前に水がたまっており、越水で削られたとみられる10月18日午前10時46分、長野市穂保

千曲川堤防決壊調査委

越水が原因で決壊した長野市穂保の千曲川堤防。堤防自体の強度は基準を満たしていたが、台風19号の記録的な豪雨で増水した水の力には耐えきれなかった。今回の調査委員会は、あくまで決壊した堤防の本格復旧方法を検討するのが目的。千曲川堤防で越水を防ぎ、決壊させないためには、上流、下流を含め千曲川流域全体の整備について、早急に検討する必要がある。(木田 祐輔)

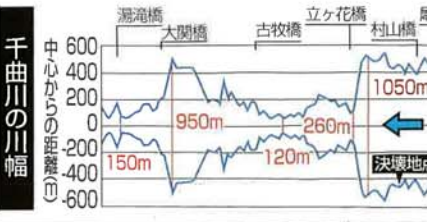
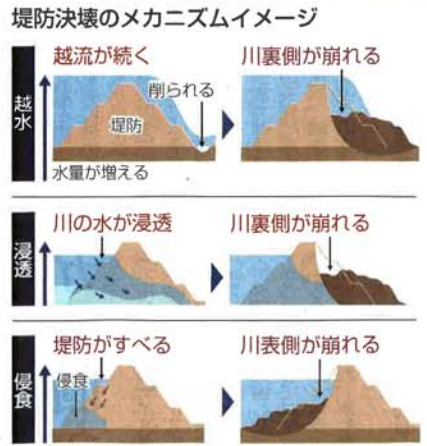
【1面参照】

1.5キロ区間であふれ土削る 基準満たす強度の堤防なぜ

現場付近の堤防は1984年(昭和59年)に完成。国土交に決壊現場を現地調査した有通者北陸地方整備局は、治水 識者調査委員会の大塚博義委員に必要なら高さを上げた(長岡技術科学大学教授)も「しっかりとした堤防だった」と印象を語った。2005(平成17)年には堤防を強化する盛り土工事も行い、合わせて「越水」も付近では水位が上がりやす

流域全体の整備必要 決壊部分復旧のその先へ

10月13日の決壊から1ヵ月。流域住民にとっては二度と今回のような堤防決壊、氾濫が起きない対策の検討が待たれる。「流域全体の中期にわたる整備も必要」。調査委員を終了した大塚氏は、この取組に大塚委員長はそう答えた。調査委員の目的は決壊原因の究明と、決壊した堤防の復旧方法の検討。大塚氏は「越水しても壊れないよう、堤防の耐久性向上を図る工事などを対策として示唆したが、あくまで越水したときの防衛策にすぎない。越水自体を防ぐには、台風19号レベルの大量の水を流せる河道を確保することが必要になる。そのためには、河床の掘削や堤防かさ上げ、堤防の位置変更をすることが求められる。ただ、河川の治水は下流から整備していくのが基本だ。新潟県で進んでいる整備にめどが付かないと、県内の整備は進めない。仮に県内の堤防の高さを上げるなどすれば、その下流域で水位が上がり、決壊する可能性が高まるため、決壊現場から上流の取組が必要だ」と述べた。



農地ボランティア 泥やごみ集中撤去

長野のリンゴ園できょう試行

NPO法人長野県NPOセンター(長野市)など県内団体のボランティアは、13日、集中的に農地を撤去するボランティア活動として活動した。台風19号災害による千曲川氾濫などで農地に大量にたまった泥やごみを撤去するボランティア活動を開始する。NPOセンターは、13日、集中的に農地を撤去するボランティア活動として活動した。台風19号災害による千曲川氾濫などで農地に大量にたまった泥やごみを撤去するボランティア活動を開始する。NPOセンターは、13日、集中的に農地を撤去するボランティア活動として活動した。台風19号災害による千曲川氾濫などで農地に大量にたまった泥やごみを撤去するボランティア活動を開始する。

河川敷浸食確認 国が応急工事へ

千曲市の千曲川

河川敷の浸食が確認され、国が応急工事をする千曲市の千曲川。千曲川は、14日、千曲市穂保から千曲川右岸までの堤防道路は14、16日まで通行止めになる。河川敷の浸食は同事務所職員が定期巡回で、11月初旬に確認した。同事務所によると、長さ30ほど、幅2ほどにわたる浸食があった。台風が千曲市を通過する前には、堤防から千曲川まで約10の河川敷が浸食された。さらなる浸食を食い止めるため、同事務所は14、16日にブロックや石を詰めたネットを設置する応急工事を行う。13日は重機1台が現場に入るなど、準備が進められた。同事務所は「今回同様、工事に伴って、千曲川右岸の堤防道路は14、16日の午前8時から午後5時に通行止めになる」と述べた。

千曲川国の治水 知事強く求める

県側との懇談で

千曲川国の治水。知事強く求める。県側との懇談で。千曲川は、14日、千曲市穂保から千曲川右岸までの堤防道路は14、16日まで通行止めになる。河川敷の浸食は同事務所職員が定期巡回で、11月初旬に確認した。同事務所によると、長さ30ほど、幅2ほどにわたる浸食があった。台風が千曲市を通過する前には、堤防から千曲川まで約10の河川敷が浸食された。さらなる浸食を食い止めるため、同事務所は14、16日にブロックや石を詰めたネットを設置する応急工事を行う。13日は重機1台が現場に入るなど、準備が進められた。同事務所は「今回同様、工事に伴って、千曲川右岸の堤防道路は14、16日の午前8時から午後5時に通行止めになる」と述べた。

千曲川国の治水 知事強く求める

県側との懇談で

千曲川国の治水。知事強く求める。県側との懇談で。千曲川は、14日、千曲市穂保から千曲川右岸までの堤防道路は14、16日まで通行止めになる。河川敷の浸食は同事務所職員が定期巡回で、11月初旬に確認した。同事務所によると、長さ30ほど、幅2ほどにわたる浸食があった。台風が千曲市を通過する前には、堤防から千曲川まで約10の河川敷が浸食された。さらなる浸食を食い止めるため、同事務所は14、16日にブロックや石を詰めたネットを設置する応急工事を行う。13日は重機1台が現場に入るなど、準備が進められた。同事務所は「今回同様、工事に伴って、千曲川右岸の堤防道路は14、16日の午前8時から午後5時に通行止めになる」と述べた。

ボランティアや工事関係者向けにプラン

「安く泊まって」復興支援

信州発

北信のゲストハウスやホテル

風評懸念 情報発信にも期待

台風19号による水害の被災地で活動するボランティアや工事関係者を対象に、北信地方のゲストハウス(簡易宿泊施設)やホテルが割安な料金プランを打ち出している。氾濫した千曲川から近い地域の観光業界には、風評被害や自粛ムードによる影響への懸念が根強い。滞在しやすい環境を用意して復興を支援するだけでなく、宿泊者を通じた地域の情報発信で客足を呼び戻したいとの狙いもある。



ボランティアや被災者の宿泊料を割安にしている「森と水バックパッカーズ」長野市中御所



ボランティアを終えた男性(左)を出迎えるマツシロウォーカーズの山本代表(右)長野市松代町

加している川口恵三マネジャーは「平日を中心にまだまだ人手が足りないと感じる。県内外からのボランティアを後方支援し、少しでも復興を下げたい」と話す。

同市松代町のゲストハウス「マツシロウォーカーズ」はボランティアを対象に11月12日まで、通常は1泊2500円の料金を赤字覚悟で千円にした。13日からは千円に引き上げたが、11月中の週末はボランティアでほぼ満室という。山本勝彦代表は「一刻も早い復興のため、多くのボランティアを受け入れたいという思いがあった」とする。

長野市外の宿泊施設にも同様の動きがある。下高井郡山ノ内町の「ホテルタガワ」はボランティアを対象に、通常料金より4割ほど値下げしたプランを提供。8〜12人のグループはさらに割り引く。千曲市の戸倉上山田温泉の「中央ホテル」のプランはボランティアと工事関係者向け。通常は1泊2食付きで税込み約1万千円だが、6380円で提供している。

中央ホテルは台風の影響でキャンセルが相次ぎ、10月の売上高は前年同月比で3割ほ

ど減少。11月も前年をやや下回る状況が続く。小平和正社長は「千曲川に近い立地から敬遠されている」とみて「実際に宿泊してもらうことで、

通常通り営業していることをアピールしたい」とする。戸倉上山田温泉の「旬樹庵柏屋」は、ボランティアを対象に通常の宿泊料金より千

〜2千円安いプランを提供。担当者は「ボランティアに温泉や観光も楽しんでほしい。観光地の情報を発信してほしい」と期待している。

被災中小支援 長野・佐久・飯山で説明 補助金使いにくさ指摘も

県産業労働部は13日、台風19号で被災した中小企業を対象とする国の復旧支援策の説明会を長野、佐久、飯山の各市で開いた。12日の上田市に続く開催。政府がまとめた対策パッケージのうち、工場や設備の再建を国や県が支援する「グループ補助金」について、分かりづらさや使いにくさを指摘する声が相次いだ。

長野市の会場には被災企業や商工団体、金融機関の担当者ら約180人が出席。同市穂保の工場が浸水した特殊樹脂開発・製造のニッキフロン(長野市)の担当者は、グループ補助金を活用して設備を導入したいが、設備を県外の工場に将来移転する可能性がある」と申請が認められないか」と質問。経済産業省の担当者は「制限の可能性がある」とし、申請相談時にあらかじめ説明するよう助言した。

同市穂保の工場が浸水した給食受託サービスのミールケア(長野市)は、被災を機に工場の拡張も視野に入れている。補助金の目的に「復旧」とあるため、機能を拡充する場合は対象外かと質問。同省担当者は「元通りに戻すのが原則」としながらも、具体的な内容によるため個別に相談するよう求めた。

佐久市の会場には約50人が集まった。出席したある女性は「グループ化する必要はどこのにあるのか」と質問。同省担当者は「皆さんを普段から応援している商工団体や金融機関にグループ組成を考えていただくという立て付けでやろうと作業を進めている」と説明。同省によると、個別の企業に公費を投入すると不公平感につながる」との考え方が、グループを補助の対象にした背景にあるという。



説明会の出席者から質問が相次いだ長野市の会場

上田 被災者の依頼絶えず

台風19号被害ニーズは畑・墓地での片付けに



上田市岩下の畑で泥出しの作業をする長野大生ら＝12日

上田市社会福祉協議会に、台風19号を受けて立ち上げた災害救援ボランティアセンターの閉所後も、被災者からの依頼が続いている。被災直後には手が付かなかった畑や墓地などの片付けの依頼が届く。市社協は被災者のニーズをくみ取りながら、引き続きボランティアを派遣して支援に当たっている。

市社協は被災地域の全戸調査や自治会からの聞き取りの結果、「ニーズが一段落した」として10月末で災害救援ボランティアセンターを閉じた。その後は市社協に常設のボランティア地域活動センター(市内4カ所)で依頼を受け付けてきた。

11月に入ってから、直後は片付けを始められなかった人や自力で片付けようとしたが難しかった人などから依頼

常設ボランティア拠点で受け付け継続

市社協「遠慮しないで」呼び掛け

が届いている。閉所後の依頼は13日までに計7件あり、延べ56人が活動した。

12日には上田市岩下の畑で、長野大(上田市)の学生と市社協職員の20人余が泥出し作業をした。依頼した滝沢幸奈さん(51)は自宅が床下浸水し、「台風直後も頼んだが、後になってから気が付くところもある。よくやってもらい、ありがたい」と話した。

作業に当たった長野大社会福祉学部3年の伊藤理子さん(20)は「1カ月たったけれど、まだ終わっていないと感じる。自分でもできるところからやっていきたい」。市社協の担当職員、荻原宏樹さん(44)は「引き続き活動していく。遠慮せずにどんどん依頼してほしい」と呼び掛けている。

ボランティアの依頼、問い合わせは上田ボランティア地域活動センター(☎0268・25・2629)へ。